

一、九六六人に対し、四億六、一六六万一千円を支給しました。前年度に比べ人数で六人、支給額で一、〇七八万三千円の増加となりました。

#### 五 非常勤職員公務災害補償事業

認定件数は、公務災害が一二件、通勤災害が二件ありました。

補償(福祉事業を含む)は、二人に対し、一、四七二万五千元で、前年度に比べ人数は同数でしたが、給付額では四五三万六千元増加しました。

#### 六 予防接種事故救済措置事業

本年度新たに健康被害者として認定された者は、法定給付分が一人、条例給付分はいませんでした。

給付状況は、二人に対し三、五一一万六千円を支給しました。前年度に比べ人数は二人減少し、給付額でも五五万三千円の減少となりました。

なお、基金を二八二万四千円取り崩しました。

#### 七 自然災害弔慰金、災害障害見舞金支給及び災害援護資金貸付事業

本年度は、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給はなく、災害援護資金の新たな貸付もありません

でした。

#### 八 千葉県市町村公平委員会関係

本年度は、新たな措置要求が一件で、不服申立てが四件ありました。また、苦情処理相談が一〇件ありました。

職員団体については、新規登録が二件、抹消が一件、登録事項の変更が一七件ありました。

九 千葉県地方土地開発公社関係  
役員の任免、事業計画の承認その他の事務を行いました。

取得した土地は、二団体の委託を受け、面積四、三〇六平米、金額八億一、二七八万八千円でした。

十 市町村職員採用試験合同実施  
千葉県自治センターとの統合により承継した事務で、本年度は、二回の実施で五〇団体が参加し、応募者数四、〇五六人、受験者数三、二六九人、採用者数三八二人でした。

### 《交通災害共済特別会計》

#### ◇歳入・歳出の状況

歳入総額は、一億五、三三九万六千円、歳出総額は、一億三、八一一万四千円で、前年度に比べると歳入で七・三%、歳出で一三・八%それぞれ減少しました。なお、会費収入が減少したものの、見舞金支給額も減少したことから、会費収入で見舞金を賄う事が出来ました。

それ減少しました。なお、会費収入が減少したものの、見舞金支給額も減少したことから、会費収入で見舞金を賄う事が出来ました。

#### ◇事業の概要

会員総数は、二七六、〇三八人で、前年度より一三、七二一人(四・七%)減少し、実施市町村の人口に対する加入率は、一三・五%でした。

これに伴い、会費収入額は、一億四、三〇九万五千円で、前年度に比べ九三六万七千円(六・一%)の減少でした。

見舞金支給人数は、九四六人、支給額は一億二、一二〇万円で、前年度に比べ人数で一四一人、支給額は二、〇〇九万五千円それぞれ減少しました。

これは、障害見舞金が大幅に減収したことが主な要因です。

### 《自治会管理運営特別会計》

#### ◇歳入・歳出の状況

歳入総額は、七、一九八万二千円、歳出総額は、四、一二一萬四千円でした。

歳入の主なものは、事務室、会議室等の使用料収入と会館共益負担金

で、歳入総額の五八・二%を占めました。

歳出の主なものは、光熱水費などの需用費と清掃、廃棄物処理等の委託料で歳出総額の六八・二%を占めました。

### 《自治研修センター特別会計》

千葉県自治センターとの統合により承継した「職員の共同研修機関の設置及び運営」事務を行う特別会計が新たに設置されました。

#### ◇歳入・歳出の状況

歳入総額は、一億三、九四五万四千円、歳出総額は一億三、三五一万五千円でした。

研修事業では、上級研修、指導者養成研修、専門研修、特別研修の四五課程・六二コースを実施し、研修修了者は一、八五六人でした。

また、八種講座等・一〇コース開催し、参加者は八八一人でした。

情報提供事業では、情報誌「クリエイティブ房総」を年二回発行したほか、ホームページによる研修関連情報を始め、「地域づくり財源ハンドブック」や講演録集などを掲載しました。